

第三次延岡市子ども読書活動推進計画（案）に係る意見募集の結果について

第三次延岡市子ども読書活動推進計画（案）に関する意見募集を行いましたので、市民の皆様からお寄せいただいたご意見とそれに対する本市の考え方について、次のとおり公表いたします。

記

1. 意見募集対象

- ・第三次延岡市子ども読書活動推進計画（案）

2. 意見の募集期間

令和5年3月17日（金）～令和5年4月5日（水）

3. 募集結果

提出者数：1名

意見数：1件

4. 提出されたご意見及び本市の考え方

第三次延岡市子ども読書活動推進計画（案）に関する意見及び本市の考え方

No.	ご意見（原文）	本市の考え方
1	<p>読み聞かせの嫌いな子供は居ないと言ってもいいのではないのでしょうか。</p> <p>子どもに、面白い本を自分で、自由に選んで読める楽しさ、喜びを知って貰う。「聞く」から「読む」への移行の時点をどう導くかにかかっているように思います。</p> <p>自分が小学生の時、いつもすごく楽しみに見ていた少年向けの雑誌が、ある日突然つまらなくなってしまったことをはっきりと覚えています。</p> <p>少年時代に先生から「なんでもいいから読みたいと思った本を読めばいい、読んでいるうちに何を読めばいいか分かってくる」と言われたことがあります。そのとおりで、周りの大人が本を選んであたえるのはなるべく避けるべきです。</p> <p>成長につれて変わっていく読書の対象、色々な書物がある図書館、図書室 書店に親しむことが大切だと思います。専門家ではないので具体的な意見はありませんが、まずは読書に親しんでもらうことに力点を置いたら良いかと思います。</p>	<p>確かに大人が無理に薦めると、子どもが本から離れていくという逆効果が生じる場合もあると思います。</p> <p>図書館では、読書に親しんでもらうきっかけづくりとして、テーマを設けた展示や年齢に合ったお薦め本等のリストを作成し配付したり、学校図書館で本等を購入する際、参考になるリストを作成し紹介したりしています。</p> <p>展示やリストに載せたような様々な本があるという情報を提供することで、その本の存在を知り、手に取るきっかけになればと考えます。</p> <p>今後もたくさんの本の中から、子どもが自分で読んで、興味や関心に合ったものに出会い、自分なりの楽しみを見つけ、生涯に渡って読書を楽しんでもらえるような本に親しむ機会の提供や情報発信に努めてまいります。</p>